

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年3月29日(2012.3.29)

【公開番号】特開2010-280746(P2010-280746A)

【公開日】平成22年12月16日(2010.12.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-050

【出願番号】特願2009-132914(P2009-132914)

【国際特許分類】

C 08 F 2/44 (2006.01)

C 08 F 290/06 (2006.01)

C 09 K 3/10 (2006.01)

H 01 F 37/00 (2006.01)

【F I】

C 08 F 2/44 Z

C 08 F 290/06

C 09 K 3/10 E

C 09 K 3/10 Q

C 09 K 3/10 L

H 01 F 37/00 J

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月6日(2012.2.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

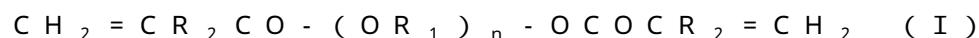
【請求項1】

(a) 多官能(メタ)アクリレートと、(b)高熱伝導率充填材と、(c)硬化剤とを含有する熱硬化性樹脂組成物であって、

前記(b)高熱伝導率充填材の含有量が、前記(a)多官能(メタ)アクリレート100質量部に対して800~1600質量部であることを特徴とする熱硬化性樹脂組成物。

【請求項2】

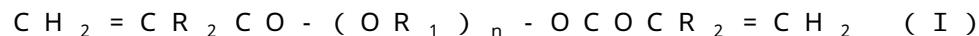
前記(a)多官能(メタ)アクリレートが、下記式(I):



(式中、nは1以上の数であり、R₁は炭素原子が1~14個のアルキレン鎖又はポリメチレン鎖であり、R₂は水素又はメチル基を示す)で表される二官能ジ(メタ)アクリレートであることを特徴とする請求項1に記載の熱硬化性樹脂組成物。

【請求項3】

前記(a)多官能(メタ)アクリレートが、下記式(I):



(式中、nは1以上の数であり、R₁は炭素原子が1~14個のアルキレン鎖又はポリメチレン鎖であり、R₂は水素又はメチル基を示す)で表される二官能ジ(メタ)アクリレートと、エボキシ(メタ)アクリレートとから成ることを特徴とする請求項1に記載の熱硬化性樹脂組成物。

【請求項4】

(d)熱可塑性樹脂、(e)低収縮剤、(f)湿潤分散剤、及び(g)繊維材料からなる群より選択される1種以上の成分をさらに含むことを特徴とする請求項1~3のいずれ

か一項に記載の熱硬化性樹脂組成物。

【請求項 5】

2.0 W / m · K 以上の熱伝導率、及び0.1%以下の成形収縮率を有する硬化物を与えることを特徴とする請求項1～4のいずれか一項に記載の熱硬化性樹脂組成物。

【請求項 6】

請求項1～5のいずれか一項に記載の熱硬化性樹脂組成物の硬化物。

【請求項 7】

請求項1～5のいずれか一項に記載の熱硬化性樹脂組成物の硬化物で封止してなることを特徴とする電気電子部品。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

中でも、硬化物の熱伝導性及び成形収縮をより一層改善する観点から、(a)多官能(メタ)アクリレートは、下記式(I)：



で表される二官能(メタ)アクリレートであることが好ましい。式中、nは1以上の数であり、R₁は炭素原子が1～14個のアルキレン鎖又はポリメチレン鎖であり、R₂は水素又はメチル基を示す。